

シカ捕獲のための

「くくりわな」活用ガイドブック



発行：熊本県林業研究・研修センター

令和8年（2026年）4月 第一版

## 目次

1. シカを捕まえようとする前に	P. 1
2. シカを捕獲する方法	
○ステップ1 シカの被害か確認する	P. 2
○ステップ2 シカが多い場所とサイズを推定する	P. 3～4
○ステップ3 くくりわなを選ぶ	P. 5～6
○ステップ4 くくりわなを設置するときのポイント	P. 7～9
コラム：シカを呼び寄せろいろいろな方法	P. 10
○ステップ5 もっと効率的にシカを捕まえるには？	P. 11～12

## 1. シカを捕まえようとする前に

山林を動きまわるシカを捕まえるのは簡単ではなく、捕まえた後は、危険が伴う止め刺し（殺処分）や、運びだす必要があります。

また、わなの設置後は、毎日の見回りが法律で義務付けられています。農林水産省では、シカの被害を防ぐために、ネットや単木資材で、シカの被害を防止する「防除」と、シカの「捕獲」を組み合わせることを提唱していますが、まず被害が発生する前に、防除することを推奨しています。

このため、シカの数が多くなりすぎたり、防除すべき森林の面積が広すぎたりして、防除が困難な場合に、シカの捕獲を検討してください。

シカの個体を見分けることは難しいですが、できるだけ、被害を与える個体（加害獣）を優先的に捕えることが望ましいです。

また、シカによる被害を低減するためには、大人のメスを捕まえる方が効率的とされているほか、小さいエリアを設定して、エリアごとに捕獲数を設定し、捕獲することが有効であるといわれています。

このパンフレットは、シカ被害対策のために捕獲を行う人が、地域で効率的にシカを捕獲するための指針として、熊本県林業研究・研修センター研究報告第51号(2025)を始め、これまで熊本県等で取りくんだ研究内容を取りまとめたものです。

## 2. シカを捕獲する方法

### ○ステップ1 シカの被害か確認する

シカの被害には、葉っぱを食べる、木の皮を剥ぐ等があります。

同じような被害を与える動物に、ノウサギがいます。

シカは高い位置の枝葉や広い面積の樹皮を引きちぎったように食べ、ノウサギは地表に近い細い枝を鋭利に食べます。また、シカのフンは黒い粒状（俵状）、ノウサギのフンは、緑色（若草色）で丸いので、見分けるときに役立ちます。



シカの食べ跡



シカの皮剥ぎ



シカのフン



ウサギのフン



シカの足跡  
(副蹄（蹄の後ろにある小さな2つの跡）跡がない)

## ○ステップ2 シカが多い場所とサイズを推定する

小さな個体を捕獲してしまうと、被害を与える大人の個体が警戒して、くくりわなにかかりにくくなります。

センサーカメラの使用やシカの足跡で、捕獲対象個体のサイズを読み取りましょう。

### ①シカが多い場所を推定する

本センターの過去の研究から、センサーカメラでのシカ撮影枚数をカメラの稼働日数（カメラの設置・データ回収日は除く）で割ると、シカの生息頭数が多い場所を判断できることがわかっています（川中・園田, 2022）。

また、センサーカメラは、簡単にシカの様子を調査できることがわかっており、オス、メスを見分けるのにも有効です。

メスジカを捕獲した方が、より、個体数を減らせることがわかっており、また、メスは、体重 17Kg から妊娠しますので、加害獣の中でも、メスジカを優先して捕獲するようにしましょう。



#### <わな設置前>

センサーカメラは、シカに気づかれないよう、シカの体高より高く（0.9～1.2m 程度以上）、広範囲が見えるように、角度を調整して設置します。

1 回の動画撮影時間を 30 秒～1 分程度で調整し定期的に電池、SD カードの交換を行ってください。

枝や葉っぱが映り込んでいると、風などで揺れてカラ撮影が多くなるので気を付けてください。

#### <わな設置後>

くくりわなを設置した後は、わなの状況が確認できるよう、もう 1 台設置すると効果的です。

カメラに映るシカが少ない、シカがくくりわなを警戒している、などが確認されたら、くくりわなの移動（再設置）を検討してください。

## ②足跡で体重を予測する

足跡だけで正確な体重を当てるのは難しいですが、科学的な調査により、およそのシカの大きさを予測できるため、捕獲個体を選ぶ参考になります

蹄の横幅	体重	捕獲の優先度
12.0mm	10Kg程度	当年生まれの幼獣。個体数調整の優先度は低め。
20.4mm	17Kg以上	捕獲対象 メスは妊娠の可能性あり
24.0mm	20kg程度	ほぼ確実に繁殖に関与。捕獲対象
36.0mm	30kg程度	成獣。優先的に捕獲
48.0mm	40Kg程度	
60mm以上	50Kg以上	



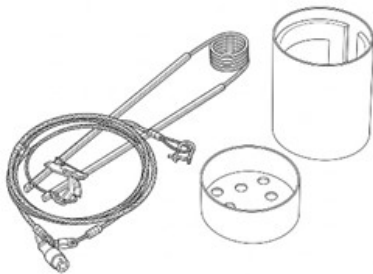
蹄の横幅の一番広いところを測る

### ステップ3 くくりわなを選ぶ

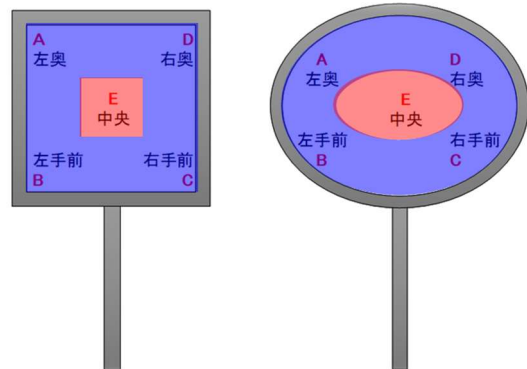
一般的に、シカがくくりわなの踏板の中央を踏んだ時が、からはじきが少ないため、一番逃げにくく、つかまりやすいとされており、中央部が周辺部よりも軽い力で作動するくくりわなの方が良いとされています。ステップ5で紹介する障害物の設置も組み合わせてみてください。



また、市販のわなでは、作動する重さがメーカーにより異なります。くくりわなには、「使い捨てを前提とした消耗品重視型」と「部品交換を最小限にする耐久重視型」があり、くくりわなによって、部品の消耗の速さや、交換回数が異なります。特に大型個体を捕獲した後は、ワイヤーのねじれ（キンク）やバネの伸び、作動部の変形が起こりやすくなります。わな設置後の見回りの際は、これらの部品に異常がないか必ず確認しましょう。

このようなことから、捕獲したい個体のサイズや、わなの説明書をよく読んで、わなを選択する必要があります。

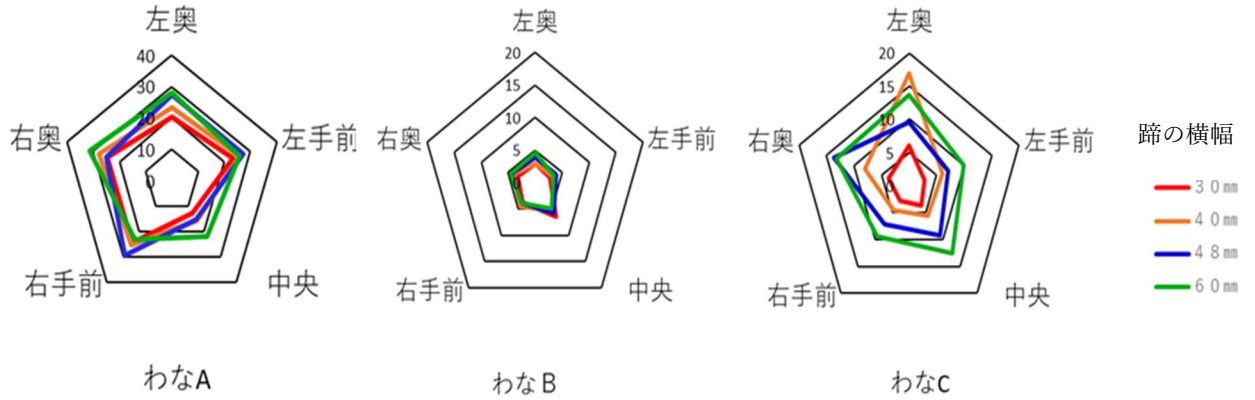


くくりわなの模式図（一例）



-  ... 確実な捕獲が望める踏み位置
-  ... からはじき又は捕獲時に危険な脚くくりとなる箇所

単位：Kg

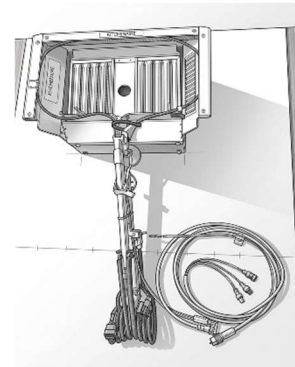


### 3種類のをなの位置別荷重試験の結果

わなAは、踏板の中央部が周辺部よりも軽い荷重で作動する

数字は、荷重何Kgでわなが作動するかを示す。

わなの種類については、研究報告第51号参照



わなAの模式図

ワイヤーにカクカクとした折れ跡（キンク）がつくと強度が著しく低下します。そのまま使わず、必ず新しいワイヤーに交換しましょう。

## ○ステップ4 くくりわなを設置するときのポイント

### ①けもの道を歩かない、荒らさない。

けもの道を歩く、くくりわなを設置する場所を荒らす、などを行うと、シカが異変に気づき、警戒して、けもの道を通らなくなり、くくりわなにかかりにくくなります。歩いたり、荒らしたりせず、場所を決めたら速やかにくくりわなを設置しましょう。

### ②くくりわなは、まっすぐなけもの道に設置する。

まっすぐだと、見通しがよく、シカの警戒心が薄らぎます。

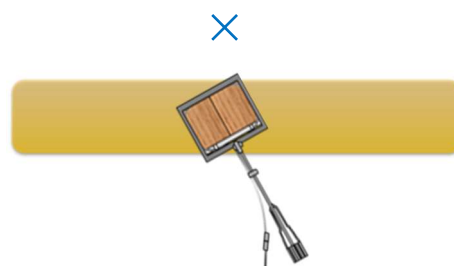
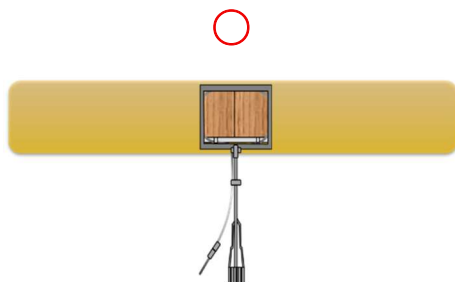


まっすぐなけもの道

### ③くくりわなは、シカの踏み込みが多い場所に設置する

けもの道の一部がへこんでいる、締め固められて、硬くなっている、落ち葉がほかの場所より少ないところは、シカの踏み込みが多い箇所です。

また、くくりわなは、踏み込みが多い場所が中央になるように、けもの道に平行になるように設置し、くくりわな本体がけもの道の外側になるようにしますが、詳しくは各くくりわなの説明書に従ってください。





踏み込みが多いと思われる箇所

④くくりわなは、シカが横道にそれない場所に設置する。

せっかくくくりわなを設置しても、シカが横道にそれて、違うけもの道をとおってしまったら、かかりにくくなります。シカの足跡が多く、横道などがなく、シカが道をそれない場所に設置しましょう。けもの道が合流しているような場所も、シカがそれません。

けもの道が多くあるような場所では、枝や梢、丸太を使って、けもの道を狭めることも有効です。



けもの道を狭める

⑤くくりわなを設置したあとは、シカに気づかれないようにカモフラージュ。

ワイヤーも埋める

野性動物は、警戒心が強く、環境の変化に敏感です。異変を感じると、くくりわなに近づかなくなりますので、くくりわなを設置した後は、掘った土で埋め戻し、葉っぱや、枝などで、自然に見えるようにカモフラージュしましょう。小さな木本類をわな付近に植えるのも効果的です。

また、元木（わなを固定する木の幹や根）に結ぶワイヤーが露出したままだと、においや、太陽や月の光の反射で、警戒心を与えてしまうので、現地の土で、見えないように軽く埋め戻しましょう。



わなのカモフラージュ

## コラム：シカを呼び寄せるいろいろな方法

シカをおびき寄せることにより、効率的に捕獲する方法が提唱されています。

### ☆「餌」でおびき寄せる

林野庁職員の小林氏が考案した捕獲方法で、シカが餌を食べる際、口元のすぐ近くに前足を置く習性を利用し、くくりわな周辺に石や、おびき寄せるための餌をドーナツ状に配置し、前足がくくりわなにかかりやすくする方法です（林野庁, 2022）。

※林野庁資料より、引用



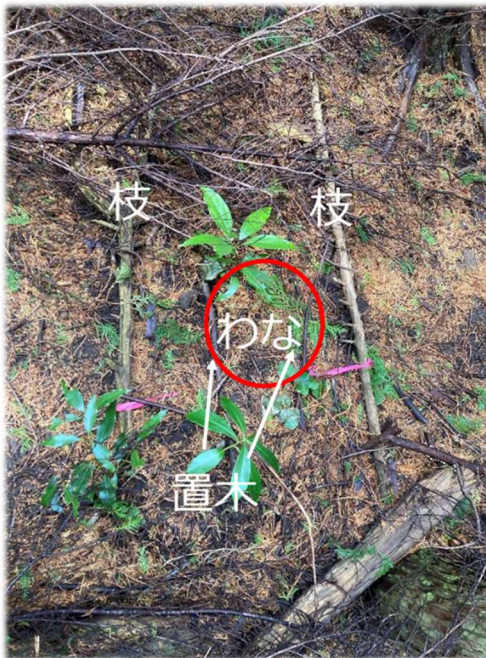
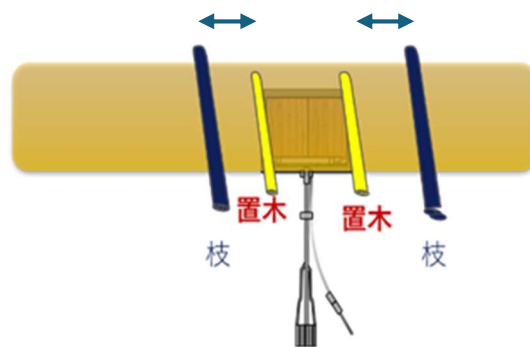
### ★「塩水」でおびき寄せる

森林総合研究所の鈴木氏によって提案されている方法です。シカにとって塩分は代えのきかない必需品です。特に、授乳期のメスは塩分を求めるため、この生態を利用し、けもの道へバケツに入れた食塩水を置くことによって、メスジカをおびき寄せる方法です（鈴木, 2025）。

## ○ステップ5 もっと効率的にシカを捕まえるには？

### ①障害物の設置

くくりわなのすぐ近くに、枝などの置木を置いたあと、その両側に枝を置くことでシカを捕獲しやすくなることが明らかになっています。くくりわなから枝への間隔は、福岡県、熊本県で15cm～30cmの間隔で検証されています。

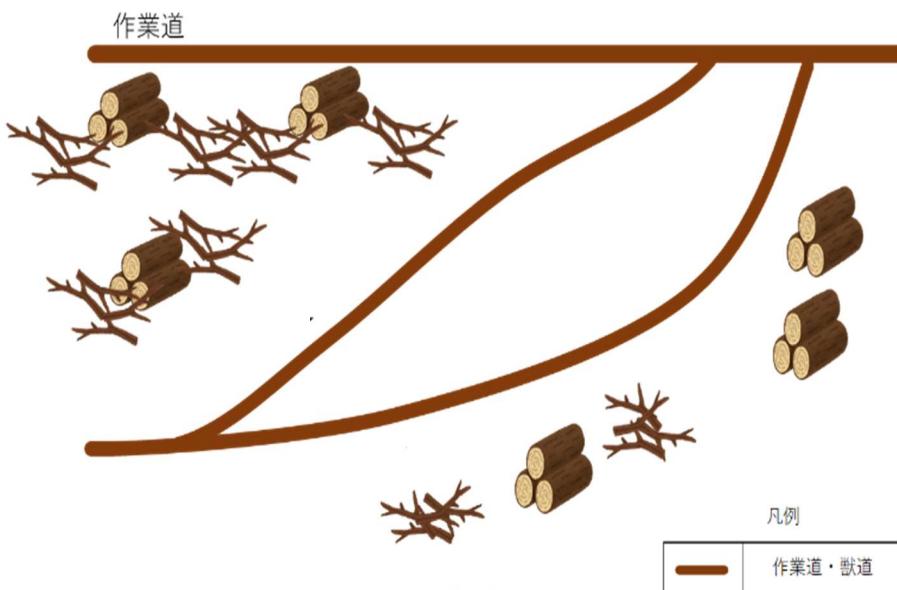


置木と枝（障害物）をおいて、シカがわなの中央を踏む機会を増やす

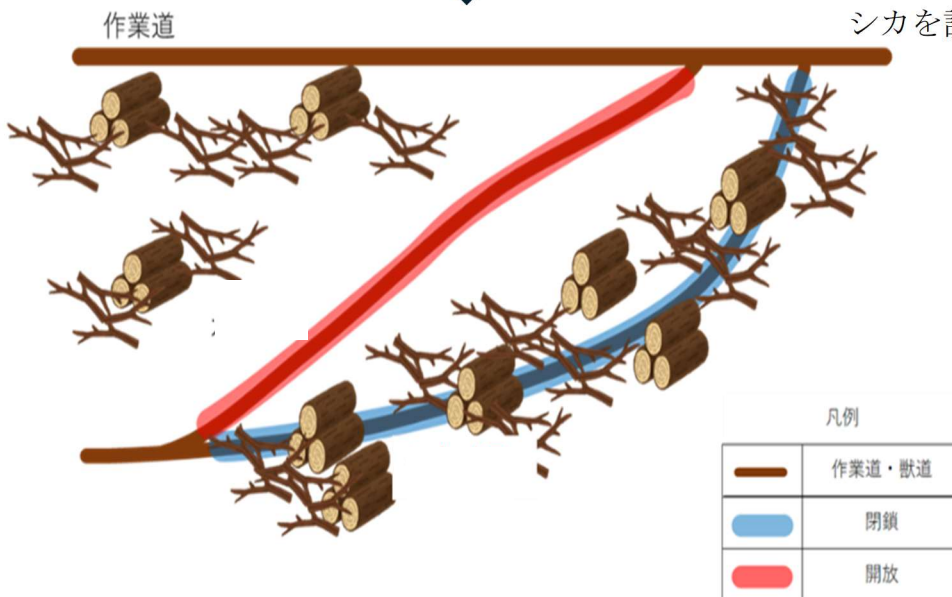
②けもの道を塞いで、ゆるやかな場所へシカを誘導する。

けもの道を丸太や枝で塞ぐと、他のけもの道に、シカを誘導できることがわかっています。

また、傾斜が緩い方がくくりわなにかかる回数が増えることも明らかになっているため、止め刺しや運搬が簡単にできるよう、傾斜の緩い、道路近くの場所にシカを誘導して捕獲することも有効です。

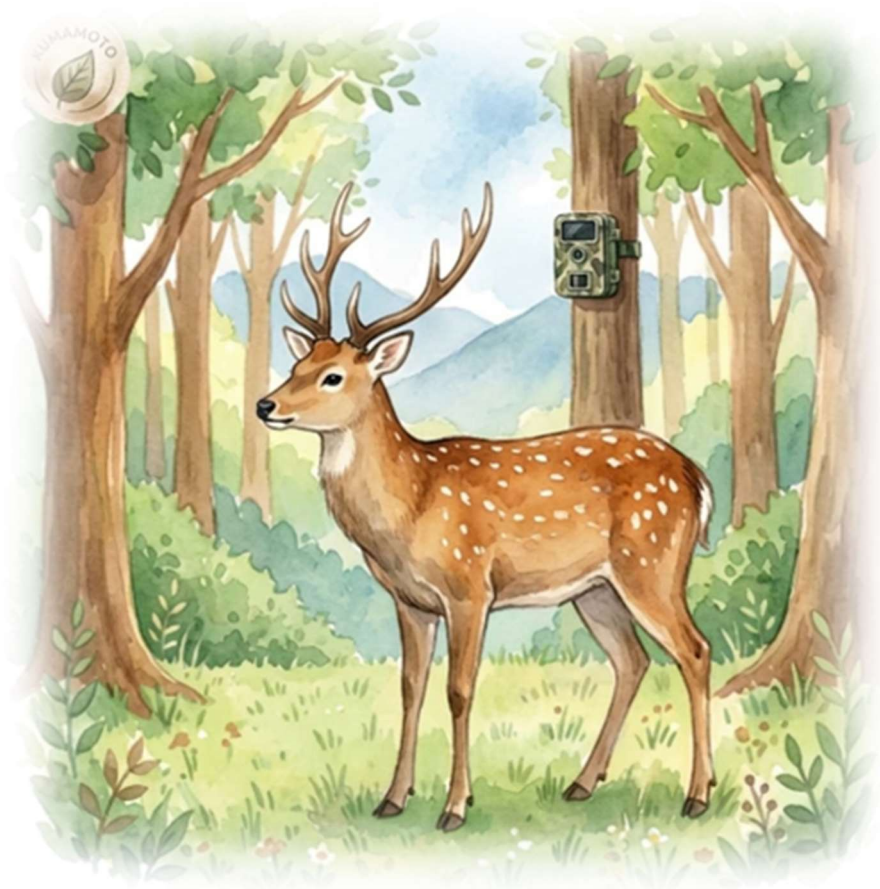


複数のけもの道がある場合、丸太や枝で塞いで捕獲しやすい場所にシカを誘導する。



## 引用文献

- 愛知県(2021) 知ってとくとく くくり罠の効率的捕獲法.
- 川中 守・園田美和(2022) 熊本県林業研究・研修センター研究報告(48-3)  
国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所(2022)  
PRESS RELEASE.
- 秦ほか(2017). 群馬県立自然史博物館研究報告 (第 21 号)
- 兵庫県北播磨県民局(2013)集落ぐるみで取組む！鳥獣対策マニュアル 捕獲対策編 10ppp.
- Lauretta Andrew Laneng et al (2022): Journal of the Graduate School of Agriculture, Hokkaido University.
- 檜崎ほか(2017)公立林業試験研究機関研究成果選集 No. 15. P35
- 農林水産省 (2023) 野生鳥獣獣害被害防止マニュアル【総合対策編】
- 林野庁(2022)小林式誘引捕獲 林野庁ホームページ
- 園田美和・草野僚一(2025) 熊本県林業研究・研修センター研究報告(51-3)
- 鈴木圭 (2023) 山林 1671 号
- 鈴木圭 (2025) 森林技術 No. 997



連絡先：熊本県林業研究・研修センター

TEL：096-339-2221

e-mail：ringyouken28@pref.kumamoto.lg.jp